

~僕らの言葉で未来につなげる~

日本赤十字社愛知県支部×朝日新聞名古屋本社 防災学習企画

## 子ども新聞プロジェクト



写真提供：朝日新聞社

## CONTENTS

### クローズアップ

#### 青少年赤十字の活動報告

- ～多文化共生社会を目指して～8名の外国人が救急員養成講習を受講
- ～水の事故に備えて～今年も親子レスキューを実施
- 三遠ネオフェニックスが主催するバスケットボールスクールで赤十字AED・CPR講習を実施

### トピックス

- 大好評！愛知県赤十字血液センターの親子教室
- 常滑市立南陵中学校 教諭 間瀬 匠さん

### ～多文化共生社会を目指して～8名の外国人が救急員養成講習を受講！

愛知県支部では、県内に住む外国人と日本人がお互いに尊重し支え合う「多文化共生社会」の実現を目指し、赤十字事業への参画を通じて地域で支援者として活躍できるよう、外国人住民を対象とした救急員養成講習を展開しています。

平成28年7月17日(日)、24日(日)、31日(日)に、豊橋市で実施した救急員養成講習では、豊橋市と豊川市の国際交流協会の協力を得て、ブラジル、ペルー、フィリピン、インドネシア出身の外国人住民8名が受講しました。

受講者の一人は「自分が学んだ救急法の知識・技術を地域に住むほかの外国人住民の方にも広めたい」と話していました。

平成28年10月には、全国で初めて外国人を対象とした救急法指導員養成講習会が開催されます。今回の受講生の中からも、講習指導員資格の取得を目指す声が聞こえました。



けがの応急手当を学ぶ外国人受講者の皆さん

### 三遠ネオフェニックスのバスケットボールスクールでAED・CPR講習を実施！

愛知県支部とパートナーシップ協定を締結しているプロバスケットボールチームの三遠ネオフェニックスが、8月23日(火)と24日(水)に開催したバスケットボールスクールの中で、試合中や練習中にも起こりうる心肺停止状態の時に使用するAEDとCPR(心肺蘇生)講習が行われました。

講習は、赤十字のボランティア指導員により行われ、フェニックスの選手や、同スクールに参加する地元豊橋市の中学生を対象に、2日間にわたり約200名の生徒が受講しました。

最初は心臓マッサージや人工呼吸に戸惑いを見せた生徒たちでしたが、人の命を救うために一生懸命に受講する姿が見られました。

愛知県支部では、今後もバスケットボールを通じた社会貢献活動を推進していくとともに、今年9月に開幕した日本最高峰の男子バスケットボールリーグ「B.LEAGUE」で三遠ネオフェニックスが活躍することに期待します。



フェニックスの選手たちと真剣な表情で講習を受ける生徒たち

### ～水の事故に備えて～今年も親子レスキューを実施しました！

愛知県支部は、安全で楽しい夏休みを過ごすため、水の事故予防について親子で楽しく学べる「パパママちゃんじ教室」や海での講習会「親子レスキュー」を今年も数多く開催しました。

7月から8月に野間海水浴場や常滑りんくうビーチなどで開催した「親子レスキュー」では、多くの親子が参加し、ペットボトルなど身近なものを利用して溺れた子どもを救助する方法を学んだり、ライフジャケットやレスキューボードを体験しました。

参加者からは「事故に備えることの大切さを楽しく学ぶことができました！」との感想をいただきました。

愛知県支部では、命と健康を守るために様々な講習を今後も開催いたします。



親子でレスキュー体験

## クロスサポーターに聞く！

**No.19 常滑市立南陵中学校 教諭 間瀬 匠さん**



日本赤十字社愛知県支部とタイアップし様々な活動に取り組む企業や団体・人(クロスサポーター)を紹介します。今回のクロサボは、常滑市立南陵中学校 教諭 間瀬 匠さんです。

愛知県支部の青少年赤十字では、「気づき」、「考え」、「行動する」を態度目標として、様々な活動を展開しています。間瀬さんは、昨年、当支部の国際交流事業で日本の子どもたちと共にモンゴルに訪れるなど、教諭になられた時から約20年間にわたり、青少年赤十字の活動に携わってこられました。

また、その子どもたちが中学生になって、再び青少年赤十字事業に参加したことで再会することができ、小学生だった頃と比べて、さらに成長した姿を見たときの喜びを今でも覚えています。

また、同じくトレセンで、子どもたちがプレッシャーを感じて体調を崩したり、ホームシックになってしまふ事がありました。そこで、私は他の指導者に声をかけ、「トレセンジャー！！」という戦隊ヒーローに扮して、少しでも子どもが楽しみながら成長できることを考えたりもしました。こうした事は、普段の学校では経験することが出来ない貴重な機会でした。さらには、国際交流事業で昨年モンゴルに同行した際に、モンゴルでは全校生徒が赤十字事業に誇りをもち、生徒会が主となって活動に取り組んでいることに驚いたことも印象的です。

#### 今後の青少年赤十字へ期待することは？

普段の学校生活では、子どもたちはどうしても「指示待ち」になってしまいます。だからこそ、今後もより多くの子どもたちが青少年赤十字の活動を通じて、自ら「気づき」、「考え」、「行動する」ことができ、世界中の人たちとコミュニケーションがとれるよう成長してもらいたいと思います。

また、今後は「ボランティア」意識を高めることにも期待し、防災減災分野などで「自助」または「共助」について学ぶ機会を増やし、モンゴルのように各学校の全校生徒が赤十字の活動を知る機会をもっと増やしてもらいたいです。

さらに、私が赤十字を通じて多くの事を学んだように、子どもたちだけでなく、教師の方々にも積極的に青少年赤十字事業に参加してもらい、子どもたち同様に自ら考えることの大切さを知つてもらいたいです。

間瀬さんは、教諭の方が集まる研修会や学校の授業で、防災教育を目的としたゲーム「いえまでごろく」を積極的に活用し、防災減災の分野でも赤十字を通じた様々な活動をされているとのことでした。当支部では、今後もより多くの子どもたちが赤十字活動に参加し、様々な経験を通じて成長できるよう、青少年赤十字事業において様々な活動を行います。

## クロサボ！ 特別編 No.6

### ■名古屋グランパス



和泉巻司 選手 ●背番号:29 ●ポジション:MF ●出身地:三重県

パートナーシップ協定を結ぶ名古屋グランパス・名古屋オーシャンズ・三遠ネオフェニックスの選手たちに“赤十字”について聞きました!

#### 赤十字のイメージは？

赤十字のイメージで最初に浮かぶのは募金活動です。「平成28年熊本地震災害」では、名古屋グランパスの選手会で募金活動を行い、ご協力頂いた支援金は赤十字を通じて被災地の方々へ寄附させていただきました。今後は赤十字病院の慰問活動も行いたいです。

#### 今年の抱負は？

なんとしてもJ1に残ることです。チームとしても個人としても出来ること、やらなければいけないことを精一杯取り組み、今の目標を達成したいと思います。

### ■名古屋オーシャンズ



安藤良平 選手 ●背番号:14 ●ポジション:FIXO/AL/PIVO ●出身地:神奈川県

災害救援活動など、苦しんでいる人々への支援活動を行っているイメージがあります。今後は、献血の協力など赤十字を通じた社会貢献を積極的に行い、オーチャンスを多くの人に知ってもらいたいです!

#### 今年の抱負は？

今シーズンから名古屋オーシャンズに入団しましたが、自分がチームを引っ張っていく気持ちで、プレーしていきます!

### ■三遠ネオフェニックス



大石慎之介 選手 ●背番号:1 ●ポジション:SG ●出身地:静岡県

赤十字のイメージは？ 義援金の受け渡やボランティア活動など、困っている人を助けているイメージです。私これで、義援金の募金活動や献血で赤十字へ寄付してきました。また、先日は赤十字が行なうAED講習にも参加しました。

#### 今年の抱負は？

もちろんBリーグでの優勝です。厳しい戦いが続きますので、一つ一つの試合を大切にして、勝利を積み重ねていきます。また、プロバスケットボール選手として、社会貢献活動も積極的に参加していきたいです!

